日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の２　TEL &FAX　52-3097　2011年３月20日（日）第1398号(1)

民報 ゆうばり

東日本大震災の支援取り組む！

市民の声議会に！くまがい桂子選挙事務所開き

あふれる熱気の中、4年前の雪辱を誓う！

3月13日(日)、くまがい桂子選対は4月17日告示の一斉地方選挙にむけて、選挙事務所開きを行いました。

雇用促進住宅のアパートがならぶ千代田2丁目の共産党夕張市委員会事務所を選挙事務所にして支持者後援会員など50名近い参加者で会場はいっぱいになりました。

主催者の挨拶に立った選挙対策委員長の相馬公信さんは、冒頭3月11日に起きた東日本大震災のことについて、被災された方へのお見舞いをのべるとともに、共産党夕張市委員会として支援の募金活動の取り組みを表明し、協力を訴えました。

事務所開きにあたり「今度の選挙は4年前の雪辱を果たさなければならない。また、夕張の再建には共産党の議席がどうしても必要である」と強調しました。

くまがい桂子さんの当選を願う声、次々！

来賓の産廃問題で奮闘した市民ネットの代表や、2月、長沼町議員に当選した薮田　享さん、南空地区委員会常任委員松井邦夫さんがくまがい桂子さんの当選を願い激励の挨拶をおこないました。

参加した市民ネットの6名の仲間たちからは「産廃建設を断念させた取り組みで、くまがい桂子さんが果たした役割は大きかった」と運動の成功を振り返り、「市議になって住民の要求をとりあげ頑張ってほしい」と、期待をこめた発言がありました。

「市民の思いに心を寄せて…」と決意新！

決意表明に立ったくまがい桂子さんは「震災の被害の大きさは想像をはるかに超えている、支援の活動をしっかりやらなければならない事だと考える」そして非常に心配な原子力発電所の被災による放射能漏れの問題をとりあげ、「安全を無視した国・電力会社の強引な政策の欠陥が露呈している」と指摘しました。

また、「この4年間財政破綻の夕張を再生するために、国・道の責任を追求し支持を広げ、多くの市民と行動を共にしてきました。再生市民会議の活動で命のバトンの実現、学童保育所の若菜地区開設実現の取り組みなど、これからも市民の思いに心を寄せて頑張る」と決意を語りました。

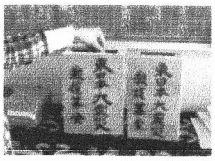
新日本婦人の会女性後援会と市民ネットから大きな花束が送られ会場が一段と華やかになりました。年金者組合夕張支部共産党後援会事務局長の三浦守さんの音頭でジュースとお茶を用意して乾杯をしました。

おわりの挨拶に共産党夕張総合後援会会長の筒井勇治さんが、震災支援とくまがい桂子さんの当選をなしとげるため団結してがんばろうと参加者と共に唱和しました。

東日本大震災募金

事務所開き参加者次々募金！

くまがい桂子選挙事務所開きの席上、相馬選対委員長の呼びかけに応え、用意した募金箱に次々支援が寄せられ、合計1万2700円になりました。



選挙事務所の滝口光男事務局長は、「引き続きこの取り組みをひろげ、被災者に届くようにしたい」と、話しました。

年金者組合、『鹿鳴館』・『温泉』で楽しむ！

３月８日、年金者組合清水沢協議会は、市内の『鹿鳴館』で２０１１年度の総会を開きました。総勢三十数名が集まり、新井良平会長代行あいさつ後、来賓のくまがい桂子前市議と三浦守支部書記長の挨拶がありました。

総会終了後、会席料理を食べながら交流会に入りました。琴の演奏、日舞披露、カラオケ、ダンスを楽しみ、和やかなうちに会を終了しました。

一方、南部分会では11日、美唄の『ピバの湯』で日帰り温泉を楽しみ、総会を行いました。

15名の参加者は、温泉の湯で日頃の疲れを癒しながら、昔話に花を咲かせていました。

春をよぶ国際女性デー　夕張集会！

３月５日、研修センターにおいて「2011国際女性デー　夕張集会」が、45名の参加で行われました。

初めに実行委員長から「国際女性デーは、世界の女性たちが『暮らしと平和と権利』のために闘ってきた。これからも子ども達が飢えることなく世界に平和が訪れるまで歩んで行こう‥」と、挨拶がありました。次に、夕張労連と共産党夕張市委員会からの挨拶の後、市長からのメッセージが紹介されました。

第一部は、「夕張で住み続けたい！」と題して、共産党前市議のくまがい桂子さんが、TPPへの参加は、農業・経済・私たちの生活を破壊していくことなど、わかりやすくお話しされました。

第二部は、コールポピーのみなさんと一緒に、昔懐かしい童謡などを歌い、心に春をよぶ明るく楽しい集会になりました。

プロジェクターを使いお話する　くまがい桂子さん

くまがい桂子の　水もれ日おひて

日本共産党　前夕張市議

くまがい桂子

「暮らしを守る文明の利器」

最初に、３月11日の東日本大震災で犠牲になられた方に心からのお悔やみと被災された方にお見舞いを申し上げます。

大津波の映像、避難所の水・食料・毛布の不足、病院の薬やベッドの不足…

さらに、原発事故の報道が刻一刻と事の重大さ・深刻さを増すにつれ、「なぜ、いち早くたくさんの人を避難させないのか？」「そもそも地震大国の日本に原発をつくることがおかしい！」と憤りがわいてきます。

事故直後の政府の煮え切らない発表に引き換え、文明の利器、インターネットでは実際の原発の設計にかかわった技術者などが、一般向けに危険性を分かりやすく説明している記者会見のビデオが放映され、私も多くの人に知らせようと、HPとツイッターで発信しました。

政府や大手のマスコミが情報を操作したり隠したりしても、事実を知っている人がインターネットを使って、簡単に発信できるようになり、外国では政権が退陣に追い込まれる事態にも陥りました。

もう一つの文明の利器はプロジェクター（パソコンとつなぐ幻灯機）です。

３月５日、国際女性デー夕張集会で、「TPP参加で医療・介護・福祉へ命の格差・夕張では…」という内容で、様々なグラフをプロジェクターで大写しにして、参加者みんなで考えました。

TPPで雇用は３５０万人も減り、国内総生産（GDP）は８．４兆円も減、食料自給率は現在の40％から13％へ低下するというのですから、とても認めるわけにはいきません。

この10年間で、大企業のもうけは２．１倍、内部留保は１．６倍、しかし、働く人の賃金はマイナス５．２％です。さらに、社会保障が進んでいるスウェーデンではGDPの35％が社会保障に使われ、事業主の負担は14％、公費は16％、被保険者は１．５％の負担です。

プロジェクターで映しだされた、大きなグラフで比較すると、日本はスウェーデンの半分ほどの社会保障でありながら、被保険者（国民）の負担が高く、公費や事業主（国・都道府県や企業）の負担が半分以下であることがよくわかります。

知は力です。文明の利器を大いに活用して、情報を共有し、広げて、ご一緒に安心できる政治をつくっていきましょう！

＊日本共産党夕張市委員会 HP　http://pub.ne.jp/jcpyubari/　　前市議くまがい桂子 URL　http://www.kumagai-keiko.net/　もぜひご覧ください。